

◎ 除草管理機仕様書

- ①製品価格 15万円～20万円程度（使用頻度が少なく高い価格帯で導入普及が難しい）
- ②化石燃料エンジンを動力とするもの（圃場が点在していること、電源確保が困難）
- ③ハンドル操作による自走式、ワンタッチで方向転換が可能であること
- ④高齢者もお多いことから、重量は15k以内
- ⑤作業機の幅、傾斜角度の調整が可能であること
- ⑥作業能力：丈10cm程度の雑草の刈り取りと攪拌（地下部2～3cm程度の攪拌）

※作業部分の使用をどうするのか？ 幅、傾斜の調整が自由になれば、他品目、一般家庭での使用も可能となり普及拡大が見込まれる。

こでまり除草管理機 仕様書

◎こでまりの圃場概況(池田照明氏圃場)



◎こでまり栽培における雑草問題

こでまりについては、圃場内除草剤散布を基本使用しない生産者が非常に多く、手で雑草を採るのが管理の1つの仕事とされている。手で取るため作業効率は非常に悪く、また生産者の高齢化もあって年々規模減少している状況です。

特に、こでまりの枝がまだ充実しておらず定期的な降雨のある4月～6月においてはほとんどの生産者が雑草を何回も手で採っている状況で、年間最も雑草採りに時間を掛けている時期となる。生産者に向けたアンケートの中でも、雑草処理に困るとの意見が多数寄せられている。雑草の種類については数種類の雑草が生えるため、雑草の形体はマチマチです。

◎ハウス内見取り図

